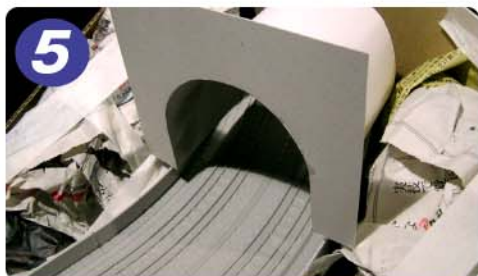


File No. 010-2 デジQトレインの  
ジオラマを作ろう<後編>

さて、今回はジオラマのベースを中心に製作し、丸めた新聞紙による山が姿を現したところまで進めたが、今回はいよいよ完成までの解説をしよう。新聞紙やダンボールといった身近なものが、ジオラマの素材になっていったが、このジオラマのテーマである「雪」の表現には何と「白いタオル」を使うようだ。果たして雪の表現に最適な素材となるだろうか…？

DIGIQTREIN  
デジQトレイン

5

## トンネルポータルを製作し取付ける

トンネルポータルは、コンクリートの質感を出すために厚めのボール紙から切り出して製作する。トンネル内を黒く塗装すると、奥行きが出てくるから効果的だ。



6

## 山をタオルで覆い、地形と雪の表現をする

タオルにボンド水溶液（ボンドを水で溶いたもの）を染み込ませ、水分をしぼったものを山全体にかぶせる。覆い終わったら表面が固まるまでよく乾燥させる。



7

## 隙間を軽量紙ねんどで埋める

タオルと線路との隙間や、周囲の仕切などの間にできた隙間は、軽量紙ねんどを使って埋める。



8

## レールをマスキングテープで保護

いよいよ雪スプレーによる装飾となるので、走行に支障が出ないようにマスキングテープでレール表面を保護する。



9

## 雪スプレーを吹付ける

ジオラマ全体に雪スプレーを吹付ける。タオルや紙ねんどの接合部が見えなくなるまで吹付ける。吹付けの際は、雪が周囲に飛散するので注意!!



10

## 木目シートを貼付けて完成

最後に周囲を木目シートで装飾して仕上げる。木目シートを貼るだけで、重量感と高級感が演出でき、立派なインテリアとして部屋に飾れるぞ。

完成!!

身近な素材だけで作った  
雪の東海道新幹線  
「関ヶ原」風ジオラマ

ついに完成したデジQトレインジオラマ！トレインコレクションで多数ラインナップされている東海道新幹線各形式を、気分次第で置き換えて楽しもう。また新幹線以外の在来線車両も結構似合うので、雪に挑む力強い鉄道シーンを、デジQトレインで再現しよう！



手前の積もった雪がまさか「タオル」とはとても思えない程、見事な雪表現ができた。



レイアウト全景。ほぼイメージ通り完成した。タオルによる簡易的な雪の表現だが、雪スプレーの吹付けをしたことにより、実感的な雪表現ができた。

雪中を疾走する新幹線700系。目線を低くして覗き込むように見ると、実際には見ることのできない迫力のシーンが視界に広がる。そこがジオラマの魅力だ。